

高松市においては、西植田町、東植田町、菅沢町を含む旧山田地区と塩江町が多くの森林面積を占めており、これらの地区において森林整備事業を実施し、地元の森林組合を中心的な担い手として林業の振興を実施してきた。そのため、新たな森林経営管理制度への取り組みについては同地区を重点的に取り組むこととするとともに、各地区で活動している森林組合に対する支援を行う。また、森林資源の有効活用を図るため、都市部での地元産木材の利用促進を図り、木材の普及啓発に取り組む。

このため本市では、森林環境譲与税を活用し、次の3つの部門で取り組むことを基本方針とし、各部門において事業を実施した。

- 1 森林整備：森林経営管理制度への準備作業を含む森林整備事業
- 2 人材育成：森林組合及び市町村の体制強化
- 3 木材普及：地元産木材の有効活用及び木材普及啓発活動

## □ 事業内容

### ①森林整備事業

- ・ 環境保全林等の整備事業を実施した。  
【事業費】1,092千円（うち譲与税1,092千円）  
【実績】森林整備事業（3か所）

### ②森林資源量調査

- ・ 本市南部地区（令和2年度実施）に続いて、本市北部地区の森林資源量調査を行い、市内全域の森林資源量データの蓄積を行った。  
【事業費】10,989千円（うち譲与税10,989千円）  
【実績】市内北部地区の森林資源量データ1式

## □ 工夫・留意した点

- ・ 森林の有する公益的機能に関する普及啓発を促進するため、環境保全林等の整備を実施した。
- ・ 航空レーザ測量データを使用して森林解析を実施し、地形データ解析や森林資源情報解析を行い、既存のシステムに導入した。

## ◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：60,686千円	②私有林人工林面積（※1）：2,201ha	
③林野率（※1）：37.9%	④人口（※2）：417,496人	⑤林業就業者数（※2）：70人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

高松市においては、西植田町、東植田町、菅沢町を含む旧山田地区と塩江町が多くの森林面積を占めており、これらの地区において森林整備事業を実施し、地元の森林組合を中心的な担い手として林業の振興を実施してきた。そのため、新たな森林経営管理制度への取り組みについては同地区を重点的に取り組むこととするとともに、各地区で活動している森林組合に対する支援を行う。また、森林資源の有効活用を図るため、都市部での地元産木材の利用促進を図り、木材の普及啓発に取り組む。

このため本市では、森林環境譲与税を活用し、次の3つの部門で取り組むことを基本方針とし、各部門において事業を実施した。

- 1 森林整備：森林経営管理制度への準備作業を含む森林整備事業
- 2 人材育成：森林組合及び市町村の体制強化
- 3 木材普及：地元産木材の有効活用及び木材普及啓発活動

## □ 事業内容

### ①森林保全活動支援事業

- ・ 森林保全活動に興味がある方を対象とした、チェーンソーや刈払機の講習を実施した。

【事業費】1,275千円（うち譲与税1,275千円）

【実績】講習修了者 13名

### ②非常勤嘱託職員雇用

- ・ 森林経営管理制度の施行に際し、会計年度任用職員を2名雇用し、森林計画制度等に関する業務を行うことで、体制強化を行った。

【事業費】6,536千円（うち譲与税6,536千円）

【実績】林業専従の会計年度任用職員2名雇用

## □ 工夫・留意した点

- ・ 講師による専門的な指導を受けることにより、受講者の作業の安全性の向上を図ることができた。



実技講習状況

## ◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：60,686千円	②私有林人工林面積（※1）：2,201ha	
③林野率（※1）：37.9%	④人口（※2）：417,496人	⑤林業就業者数（※2）：70人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

高松市においては、西植田町、東植田町、菅沢町を含む旧山田地区と塩江町が多くの森林面積を占めており、これらの地区において森林整備事業を実施し、地元の森林組合を中心的な担い手として林業の振興を実施してきた。そのため、新たな森林経営管理制度への取り組みについては同地区を重点的に取り組むこととするとともに、各地区で活動している森林組合に対する支援を行う。また、森林資源の有効活用を図るため、都市部での地元産木材の利用促進を図り、木材の普及啓発に取り組む。

このため本市では、森林環境譲与税を活用し、次の3つの部門で取り組むことを基本方針とし、各部門において事業を実施した。

- 1 森林整備：森林経営管理制度への準備作業を含む森林整備事業
- 2 人材育成：森林組合及び市町村の体制強化
- 3 木材普及：地元産木材の有効活用及び木材普及啓発活動

## □ 事業内容

### ①市有施設木質化事業

- ・ 香川県産材を活用し、十河コミュニティセンターの木質化及び木製備品を配置。

【事業費】11,871千円（うち譲与税11,871千円）

【実績】木材使用量1.3m<sup>3</sup>

## □ 工夫・留意した点

- ・ 直接市民の目に触れる機会が多い市有施設の木質化を図ることで、県産木材の需要の拡大及び地域の経済の活性化に貢献し、また、公共建築物への利用という直接的な効果はもとより、住宅等の一般建築物における利用の拡大といった波及効果も期待される。

## ◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：60,686千円	②私有林人工林面積（※1）：2,201ha	
③林野率（※1）：37.9%	④人口（※2）：417,496人	⑤林業就業者数（※2）：70人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より